1984 年度 MEDLINE ファイル

1984 MEDLINE File

後 藤 敬 治*

慶応義塾大学医学情報センター

Goto, K. : 1984 MEDLINE file. *Igaku Toshokan* 31 (1) : 42-49, 1984.

In the 1984 MEDLINE file, there are no major changes of medical periodicals to be indexed, the indexing methods and MeSH. Monographic proceedings, however, are no longer indexed as in the past MEDLINE file. In previous MEDLINE indexing, all authors, were included therein, but in the 1984 file, a limited number of authors up to ten, can be included. Articles written in the Japanese language and those written in the cyrillic are, still, exceptions, maintaining a limit of five authors. A total of 99 new MeSH descriptors are added to the new MeSH and 113 deleted or replaced by other descriptors; so that a total number of descriptors are almost the same as in the 1983 MeSH (ca.14,000). In 1984, a new online indexing has been introduced to the MEDLINE file indexers, so that the users of the MEDLINE file can expect to receive faster informations through the file. New terminals (VDT) are being used with amber filters on the front of the VDT, to protect the indexers from occupational hazards-including eye strain.

I. は じ め に

1984 年の MEDLINE ファイル, および, このファイルや *Index Medicus*, *Current Catalog*, *Audiovisual Catalog* 等, MEDLARS 関連二次資料の主題索引出し語に用いられる 1984 年版 MeSH (Medical Subject Headings) descriptor について, 主として米国国立医学図書館 (NLM) の資料¹⁾⁻⁹⁾¹⁴⁾⁻¹⁶⁾にもとづいて, その概要を紹介しよう。

1984 年度もこれまでと同様, ファイル作成方針, MeSH, MeSH descriptor 付与方法に大きな変更はない。

変更事項としてあげるべき主なことは, 次の 3 項目であろう。

(1) モノグラフ会議録 (monographic proceedings) の MEDLINE ファイルへの入力の中止。

(2) 個人著者名の入力上限数 (10 名まで) のあらたな設定。

(3) Descriptor 重複付与の中止 (INFANT, NEW-BORN, DISEASES ; NEOPLASMS, EXPERIMENTAL ; SPORTS MEDICINE について)

以下, これらの説明を含めて, 1984 年の MEDLINE ファイルおよび関連二次資料利用上の参考事項をのべる。

II. モノグラフ会議録の収録中止

1976 年以来, 雑誌文献情報と共に MEDLINE ファイルの文献情報を構成してきたモノグラフ会議録 (monographic proceedings) が¹⁴⁾¹⁵⁾¹⁶⁾1982 年半ば (?)^{*}から収録中止と決定された²⁴⁾。その結果, MEDLARS データベース収録逐次刊行物リストのタイトルが, "List of serials and monographs indexed for online users ..." ⁵⁾⁶⁾から, "List of serials indexed for online users ..." ⁴⁾へと変更されている。

* 1982 年 3 月作成のリスト⁵⁾には, ファイルに収録されたモノグラフ会議録, 583 点が含まれている。(1981 年, 163 点)⁹⁾

この決定により, MEDLINE ファイルから作成される *Index Medicus* の文献情報も, 雑誌文献情報のみと

* Keiji GOTO : Keio Gijuku University Medical Library and Information Center, 35 Shinanomachi, Shinjuku-ku, Tokyo 160, Japan.
(昭和 59 年 2 月 8 日 受理)

なった。この雑誌文献情報には、雑誌文献の一部として雑誌に掲載される各種記事 (proceedings of congress, conference, symposium, round table, seminar 等) も含まれているので、これらとモノグラフ会議録とを混同してはならない¹⁵⁾¹⁶⁾。

III. Index Medicus 収録雑誌と収録文献数

最近入手した NLM 1982 米国会計年度 (1981. 10－1982. 9) 年次報告²⁾によると、この期間に、275 タイトルの雑誌が MEDLINE ファイル収録文献の 90% 以上を占める Index Medicus 用収録文献掲載雑誌の候補にあげられ、この中の 71 タイトルが収録文献雑誌とされている。また、皮膚科学、眼科学、獣医学分野の雑誌については、Index Medicus 収録誌のすべてにわたって収録の適否の見なおしがおこなわれている。

次に最近の NLM データベースに関する統計をあげる²⁾。ここにあげた年度は、すべて米国会計年度で表示されている。

年 度	1979	1980	1981	1982
収録文献数*	254,210	266,730	279,105	282,950
Index Medicus 用 収 録 文 献 数	230,427	243,873	256,112	259,874
同 雑 誌 タ イ ト ル 数	2,595	2,661	2,664	2,697
入 力 著 者 英 文 抄 録 数	98,501	111,629	126,742	124,511

* Index to Dental Literature, International Nursing Index, Hospital Literature Index, Health Planning & Administration, AV テープのための入力を含む。

この統計から判断して、ここ数年間、NLM データベースの入力状況に大きな変更はないようである。

IV. 個人著者名入力数の制限 (10 名まで)

MEDLINE ファイルでは、これまで個人著者名は、二つの例外*を除いて、すべてファイルに入力されてきた。¹⁴⁾

これが 1984 年度のファイル入力作業開始時点に変更され、個人著者名の入力は 10 名までとなり、第 11 著

者以上の著者名は、一括して “et al” として入力されることになった。¹⁾ この結果、1984 年度の Index Medicus, Author Section の記述も第 10 著者までとなり、それ以上の著者名は “et al” で表記されるので、第 11 著者以上の著者名を検索タグとすることはできなくなった。

団体著者名の入力は、これまでと同様、“no author” として入力され、この点についての変更はない。¹⁴⁾¹⁶⁾

* 日本語論文では、著者名の表記がローマ字、日本語のいずれで書かれていても第 5 著者までが入力される。

キリル文字で表記された著者名も、同様に第 5 著者まで入力される。

その理由として、日本語論文では他の国語で書かれた論文に比し、しばしば著者数が多過ぎること、著者名のローマ字化に時間を要する (キリル文字) か、読みの多様性のため困難なこと (日本語)、があげられている。

V. Index Medicus 用 descriptor に対する同一概念 descriptor 重複付与の中止——INFANT, NEWBORN, DISEASES ; NEOPLASMS, EXPERIMENTAL ; SPORTS MEDICINE

MEDLARS データベース主題検索語付与の原則は、付与対象概念に対して MeSH 中からできるだけ特異的な (specific) descriptor を選び、それを検索語とすることである。¹⁵⁾¹⁶⁾ この一般原則の例外として、過去 30 年以上にわたって、上記 3 descriptor は、Index Medicus 利用者のために、同一概念グループの上位語、下位語が重複してファイルに入力されてきた。ただ、この場合でも、二つの descriptor が MeSH Tree Structures 中に上位、下位の関連付けがされている場合は、重複付与はおこなわれない。(INFANT, NEWBORN, DISEASES)

1984 年のファイル作成からは、最近のオンライン情報検索の普及の一般化を考慮の上、この例外規定が廃止され、これら descriptor も他の MeSH descriptor 同様、これらが主題検索語として適切に用いる場合のみ、descriptor として用いるよう変更された。多くの場合、これらの語は、特定の個々の概念を表現する語が MeSH にないか、それら概念を全体として表現するための descriptor として用いられることになる。

次にこれらの1984年度ファイル作成における新しい用例を示す。

(1) INFANT, NEWBORN, DISEASES

(付与対象概念, 以下の例でも同様)

A streptococcal infection in a neonate.

(付与 descriptor, 以下同様)

STREPTOCOCCAL INFECTIONS (IM)

INFANT, NEWBORN (check tag)

これに1983年度までのファイル作成で付与していた, INFANT, NEWBORN, DISEASES を加えない。

(2) NEOPLASMS, EXPERIMENTAL

Experimental glioma in a rat.

GLIOMA (IM)

BRAIN NEOPLASMS (IM)

RATS (NIM)

ANIMAL (check tag)

これに NEOPLASMS, EXPERIMENTAL を加えない。

(3) SPORTS MEDICINE

Hemodynamics of runners.

HEMODYNAMICS (IM)

RUNNING (IM)

HUMAN (check tag)

これに SPORTS MEDICINE を加えない。

VI. MeSH

1984年版MeSHで検索可能な1984年度MEDLINEファイルの利用可能時期は, 国内各システム (JOIS, DIALOG, BRS)により, すでに可能なシステム, これから可能になるシステムとことなるが, MEDLARS関連冊子体二次資料 (Index Medicus, Current Catalog 等)の主題索引 descriptor 付与は, 1984年度発行分では新しいMeSHによりおこなわれている。

以下, 1984年版MeSH descriptor, 注記, カテゴリー, subheading についてのべる。

あらたに1984年版MeSHに加えられた99の descriptor の和訳, 解説については, 日本科学技術情報セ

ンター発行のJOISニュース, No.25 (1984. 4)に発表予定なので, 新 descriptor の個々の説明は, ここでは省略させていただく。

1. Descriptor

99の descriptor (major, minor descriptor)が1984年版MeSHに追加された。削除, または他の descriptor で置き換えられた descriptor が113あるので, 全体としての descriptor 数は約14,000と, これまでのMeSH descriptor 数とほぼ同数である。(14,082)¹⁾

この全容は, MeSH-Annotated Alphabetic List, 1984²⁾のはじめの部分に掲載されているので, それを参照いただきたい。

削除 descriptor の大部分は, 化学物質, 薬物 (D カテゴリー)に関する語で, 50語以上削除されている。約20語は, これ以外のカテゴリーに関する語で, いずれもMEDLINE収録文献中にほとんど出現しないか, 全く見られなかったものである³⁾

以下, 新しく追加された descriptor の中で特に目を引いたものをいくつか紹介しておこう。

GROWTH PLATE (A2) 成長板; 長管骨の骨端と骨幹の部分とをさし, ここで骨の成長がおこる。
=epiphyseal cartilage 骨端軟骨 =epiphyseal plate 骨端板

GLOMERULAR MESANGIUM (A5) 糸球体間膜=メサングウム; 腎糸球体中で毛細管係蹄をささえている薄い膜。腎糸球体炎症時にこの部分の細胞群が増加する。

SUBSTANTIA INNOMINATA (A8) 無名質; 前脳部の一部。Alzheimer病に関連があるとも考えられている。=basal nucleus of Meynert=nucleus basalis of Meynert [Meynert 基底核]

PARIENTAL CELLS, GASTIC (A11) [胃壁細胞]=壁細胞; 塩酸および内因子の分泌細胞。=oxyntic cells 酸分泌細胞

BACTERIA, AEROBIC (B3) 好気性菌=好気菌
BACTERIA, ANAEROBIC (B3) 嫌気性菌=嫌気菌
GRAM-NEGATIVE BACTERIA (B3) グラム陰性菌

GRAM-POSITIVE BACTERIA (B3) グラム陽性菌

この4語は、細菌を大別する場合に用いられる。前の2語は、細菌の発育に遊離酸素を要するか否か、後の2語は、Gram, H. C. J. (1853-1938) の考案した染色法により細菌を二つのグループに分ける時に用いられる用語である。

DIABETES MELLITUS, NON-INSULIN-DEPENDENT (C18) インスリン非依存型糖尿病 = diabetes mellitus, adult onset [成人型糖尿病] = [成人発現性糖尿病] = diabetes mellitus, ketosis resistant [ケトシス抵抗性糖尿病] = diabetes mellitus, stable [安定型糖尿病] = diabetes mellitus, type 2 II型糖尿病 = NIDDM = Non-Insulin-Dependent Diabetes Mellitus

ACQUIRED IMMUNODEFICIENCY SYNDROME (C20) 後天性免疫不全症候群 = AIDS = エイズ；この語の重要性のため、とくに暦年改訂の MeSH descriptor の例外として、1983 年3月から入力に用いられている。

VIRAL ENVELOPE PROTEINS (D12) [ウイルス被膜たんぱく質] = [ウイルス・エンベロープたんぱく]

ANTINEOPLASTIC AGENTS, COMBINED (D26) [癌多剤併用療法の薬物] = [抗癌剤併用化学療法] = [癌多剤併用療法]；同時または継続的に複数の化学物質を用いておこなう、“がん”の薬物療法と定義されている。これは定義から考えれば“E”に入るべき語であり、descriptor から考えれば、スコープ・ノートの定義と論理的に一致しない不思議な descriptor である。逆参照語も同じ傾向を有する語が付されている。

COMBINED MODALITY THERAPY (E2) [併用療法] = [多モード治療]；同時または継続的におこなう複数の療法。たとえば、化学・免疫療法、放射線・免疫療法、化学・放射線療法、またはこれら個々の療法をそれぞれ相互に一つの疾病治療に用いること。外科療法もこの療法の一つに含まれよう。

VITRECTOMY (E4) 硝子体切除術 = 硝子体切除；眼球硝子体の全部または一部を取り出すこと。

BITE FORCE (E6) [咬合力]；上下顎の咬み合わせ時に咬合面に加わる力。= masticatory force [咀嚼力] = occlusal force [咬合力]

BIOLOGICAL PSYCHIATRY (G2) [生物学的精神医学]；生物学的行動科学に対する用語。学際領域の一分野。生化学、遺伝学、生理学、神経病学などの適用により精神障害の研究と治療を目的とする学問分野。

ISOTONIC CONTRACTION (G11) 等張力性収縮；筋肉収縮の一形態。

ELDER ABUSE (I1) [老人虐待]；情緒、栄養または肉体的な老人虐待。= aged abuse [としよりの虐待]

VIDEO RECORDING (L) [ビデオ録画] = [映像録画] = ビデオレコーディング

WOMEN, WORKING (M) 勤労女性 = 婦人労働者 = [職業婦人]

PERSONNEL ROYALTY (N4) [忠誠心] = [帰属意識]；雇用従業者の所属機関、組織に対する献身性。

2. 注 記

14,082 の descriptor に対して、13,159 の注記が Annotated MeSH⁷⁾に付されている。この中の88は99の新しい descriptor に、96は1984年度 MeSH の変更に対して付され、206は、これまでの注記への追加である。⁹⁾

3. カテゴリー

1984年版 MeSH⁷⁸⁾においても、descriptor のカテゴリーの変更と追加がいくつかおこなわれている。

個々の変更については、各位が実際に MeSH、ことに Tree Structures⁹⁾を利用される際、それぞれの descriptor のカテゴリー、階層関係を確認の上、有効に MeSH を用いる必要がある。

以下にのべるのは、その一部であるが、MeSH の有効利用のため、参考までにあげておこう。

(1) HEART DEFECTS, CONGENITAL (C16) および関連 descriptor の C14 カテゴリーへの追加

これまで C16 = Neonatal Diseases and Abnormalities (NON MESH) の下におかれていたこれら descriptor は、1984年版 MeSH では C14 = CARDIOVAS-

CULAR DISEASES の下にもリスト化されることになった。

(2) MUSCLES (A2,A10) 関連 descriptor の再配置
MUSCLES 関連 descriptor のいくつかは, A2 カテゴリーで次の様にリスト化された。

MUSCLES A2.633

MUSCLE, SMOOTH

MUSCLE, SMOOTH, VASCULAR

MYOMETRIUM

MYOCARDIUM

MYOFIBRILS

SARCOMERES

(3) ASCITIC FLUID のカテゴリーの変更 (A12 から C23 へ)

長い間, 解剖学用語——正常体液として位置付けられてきた ASCITIC FLUID=腹水 (A12) が, 本年から C23, ASCITES=“腹水症”の下にリストされることになった。

同様に A12 の ASCITIC FLUID 関連 descriptor ; GINGIVAL EXUDATES (A, C), PERICARDIAL EFFUSION (A, C), PLEURAL EFFUSION (A, C), SUBDURAL EFFUSION (A, C) は, 1984 年版 MeSH ではすべて A カテゴリーから除外され, C カテゴリーのみにおかれることになった。

この descriptor カテゴリー変更にもない, 注記も変更されている。

(4) BRONCHIAL NEOPLASMS (C4) および関連 descriptor (CARCINOMA, BRONCHOGENIC および CARCINOMA, BRONCHIO-LAR) の LUNG NEOPLASMS (C4) への Tree グループ化

これまで C4 カテゴリーの各所に分散してリスト化されていた上記 3 descriptor が, すべて LUNG NEOPLASMS の下にリスト化された。

(5) VEGETARIANISM (E2, I3=1983, E5, G6=1984) のカテゴリー変更

この変更により, これまで DIET FADS (E2, I3) の下におかれていた上記 descriptor が, DIET (E5, G6) のグループにおかれることになった。

4. Subheading=qualifier——“toxicity” の定義の部分的変更

新しい subheading の追加はない。

ただ, “toxicity” の定義が部分的に変更され, この定義により, “toxicity” の付与条件が, これまでより, 明確に使用可能となった。

次にあげるのが, 新旧二つの定義の変更部分と, 1984 年度の “toxicity” および関連 subheading の用例である。

“toxicity”-1984

Used with drugs and chemicals for experimental human and animal studies of their ill effects ; ...

(下線は筆者による)

“toxicity”-1983

Used with drugs and chemicals for experimental studies of ill effects on man or animals ; ...

筆者のとぼしい英語力では, この変更は, ヒトおよび動物に関する語句が “studies” の前後に置きかえられただけのように思えるが, 資料¹⁾によれば, 1983 年までの定義では, 一部の索引作成者は, 薬物 (化学物質) を用いたすべての動物実験報告に対して, その目的をよく分析せず, 自動的に “toxicity” を薬物 descriptor と共に用いる傾向があったようである。

しかし 1984 年のファイル作成から, 上記の新定義により, 次の用例の様な “toxicity” の付与をおこなうことを索引作成者は指示されている。

The adverse effects of drugs in humans.

names of drugs/adverse effects

The adverse effects of drugs in veterinary therapy.

names of drugs/adverse effects

The experimental studies on the adverse effects of drugs in human, veterinary animal or experimental animal.

names of drugs/toxicity

VII. Tumor Key

1984 年版 MeSH に対応して, 次の変更が Tumor Key⁹⁾に対して発表されている。

page

- 26 lymphangioendothelioma
- LYMPHANGIOMA
lymphangioendothelioma, malignant
see LYMPHANGIOSARCOMA
- 29 myoepithelioma
see MYOEPIITHELIAL TUMOR
- 35 polyp, colonic - COLONIC POLYPS
polyp, larynx - POLYPS
- 39 sebocystomatosis - EPIDERMAL CYST
steatocystoma - EPIDERMAL CYST
steatoma multiplex - EPIDERMAL CYST
- 43 tumor, rete cell
- TESTICULAR NEOPLASMS

VIII. その他の話題

1. Chemical Records

1982 米国会計年度に約 4,200 の化学用語が、すでに冊子体で発行されている MeSH-Supplementary Chemical Record¹⁰⁾の母体である MeSH Chemical Subfile に追加された²⁾

1982 年 3 月におこなわれ NLM の米国議会への報告では、Subfile の収録語数は 25,000 と記録されている¹¹⁾

2. MEDLINE 検索システム利用時間帯の延長

すでに国内の日本科学技術情報センターの JOIS でも、利用時間帯は 9 時から 20 時まで（月曜—金曜）、米国系システム（DIALOG, BRS）でもこれと同等、またはそれ以上の利用時間帯を設定して MEDLINE ファイルの検索利用の要求に応じているが、国立機関である NLM のシステムにおいても、1981 年 10 月 1 日から夜間の利用時間帯をこれまでより 1 時間延長し、21 時 (E. T.) までとしている。なお、土曜日 8 時 30 分から 17 時 (E. T.) までのシステム利用時間帯が設けられている²⁾

3. MEDLINE ファイルのリース料金

従来、MEDLINE ファイルのリース料金は、1 機関

に対して 50,000 ドルと固定して設定されていた¹¹⁾¹²⁾

この固定料金制度が、1982 米国会計年度（米国内機関には 1981 年 10 月 1 日から、米国外機関には 1982 年 1 月 1 日から）従量制を加味した制度に変更された¹¹⁾その方法は、固定料金が 20,000 ドル、従量料金がファイル利用 1 時間あたり 4 ドル、オフライン・プリント 1 件あたり 1 セントの料金制である。

NLM は、毎月の利用状況報告を提出させる契約をファイル貸与機関と締結している。

4. MEDLINE ファイル利用状況(1981米国会計年度)

1982 年 3 月に NLM が米国議会に提出した資料¹¹⁾によると、次のとおりである。

利用者グループ	機関数	利用時間	% (総利用時間に対する)
医科系大学	195	33,076	20
非医科系大学、図書館等	77	5,879	4
病院	684	54,908	34
政府、研究所、学会等	204	16,712	10
営利企業	368	21,195	13
その他	22	469	1 (以下)
米国外機関	342	11,667	7
NLM	—	19,397	12
合 計	1,892	163,303	100%

5. Index Medicus 購入機関数

4 で用いた資料¹¹⁾によると、Index Medicus（月刊）予約購入機関数が 6,000 以上、その年間累積版、Cumulated Index Medicus 購入機関数が約 5,000、とのことである。

6. オンライン入力

2 か年の準備期間をへて、1984 年 1 月から MEDLINE ファイル作成のためのオンライン端末機による入力作業が開始された。これにより、ファイル利用者は、より早い医学雑誌文献情報の入手を期待してよろう。

このシステムは、Automated Indexing and Management System (AIMS) と命名されており、入力作業全般の効率化を意図して設計されている³⁾

当初の実験結果では、文献情報の入力所要時間

(throughput time)が50%短縮されている²⁾。また、これ以前の報告¹³⁾では、すでにMEDLINEファイルの中心的雑誌(core journals)文献は、30日以内にファイル化されているようである。(1982米国会計年度)この処理日数は、前会計年度より平均して18日間早くなっているとのことであるから、¹³⁾ AIMSの稼動により、我々はより早く医学文献情報をMEDLINEファイルから入手できると考えてよいであろう。

AIMSで用いられる端末(VDT)は、眼精疲労などの防止のための黄褐色(amber)のスクリーンが端末前面に装備されている。このVDTによる障害は、現在のところ発生していない。

終りに、Indexing Orientationの資料を提供下さった日本科学技術情報センター、オンラインサービス業務室に感謝の意を表する。

参考および引用文献

- 1) 1984 Indexing Orientation. U. S. National Library of Medicine, September 1983. 32 p.
- 2) National Library of Medicine programs and services. Fiscal year 1982. U. S. National Library of Medicine, May [1983] 49 p.
- 3) National Library of Medicine programs and services. Fiscal year 1981. U. S. National Library of Medicine, September 1982. 65 p.
- 4) List of serials indexed for online users—1983. U. S. National Library of Medicine, [March 1983] 153 p.
- 5) List of serials and monographs indexed for online users—1982. U. S. National Library of Medicine, [March 1982] 137 p.
- 6) List of serials and monographs indexed for online users—1981. U. S. National Library of Medicine, [January 1981] 112 p.
- 7) Medical Subject Headings—Annotated Alphabetic List, 1984. U. S. National Library of Medicine, July 1983.
- 8) Medical Subject Headings—Tree Structures, 1984. U. S. National Library of Medicine, July 1983.
- 9) Technical notes : MEDLARS indexing instructions, tumor key—supplement, 1982. U. S. National Library of Medicine, [August 1981]
- 10) Medical Subject Headings—Supplementary Chemical Records, 1983. U. S. National Library of Medicine, December 1982.
- 11) U. S. Congress. House. Committee on Appropriations. Subcommittee on Departments of Labor, Health and Human Services and Education and Related Agencies. Department of Health and Human Services appropriations for 1983. Hearings before the subcommittee of the Committee on Appropriations. House of Representatives, 97th. Congress, Second Session. Washington, D. C., U. S. Government Printing Office, 1982. p. 1183-1238.
- 12) U. S. Congress. Senate. Committee on Appropriations. Subcommittee on Departments of Labor, Health and Human Services and Education and Related Agencies. Department of Health and Human Services appropriations for 1983. Hearings before the subcommittee of the Committee on Appropriations. United States Senate, 97th. Congress, Second Session. Washington, D.C., U. S. Government Printing Office, 1982. p. 585-680.
- 13) U. S. Congress. House. Committee on Appropriations. Subcommittee on Departments of Labor, Health and Human Services and Education and Related Agencies. Department of Health and Human Services appropriations for 1984. Hearings before the subcommittee of the Committee on Appropriations. House of Representatives, 98th. Congress, Second Session. Washington, D. C., U. S. Government Printing Office, 1983. p. 1713-1778.
- 14) MEDLARS indexing manual. Part I. Bibliographic principles and descriptive indexing, 1977.

- U. S. National Library of Medicine, July 1976.
15) MEDLARS indexing manual. Part II. U. S.
National Library of Medicine, August 1977.
16) MEDLARS indexing manual. (changes, 1978,

1979, 1980, 1981, 1982, 1983) U. S. National
Library of Medicine, 1978, 1979, 1980, 1981, 1982,
1983.

—— 刊 行 案 内 ——

「洋書会議録目録のとり方」

関東地区医学図書館協議会目録標準化を検討する会編

[A 4 版 43 頁 定価 1200 円 (関東地区会員特価 1000 円)]

- 関東地区加盟館のベテラン目録担当者の集まり「目録標準化を検討する会」がまとめた洋書目録担当者必携のツール！！
- 近年会議の proceedings の類が多くなっています。なかには普通の単行本と見分けのつかないものもあります。この会議の proceedings 類は洋書目録担当者にとってあつかいにくいもののひとつです。
- それだけに目録のとり方が各館各人でまちまちになりがちです。
- 本書は各館の日常業務に役立つばかりでなく、総合目録の編集に際して問題となる標準化を進めるためにも効果をあげられると思われます。

申込先：関東地区医学図書館協議会

〒113 東京都文京区本郷7-3-1 東京大学医学図書館

Tel 03-812-2111 (内線 3661)